



エプを活用したあいさつ、研修会の開催など創意工夫をしましたが、直接面談することの大切さをあらためて感じています。2022年も気を緩めることはできませんが、経済活動が正常化して需要が戻ることを期待しています。引き続き感染防止対策を行いながら活動をギアアップしていきます。

CNに関しては、報道を目にしない日はありません。水素、アンモニア、「e-fuel」、蓄電池、CCUS（CO₂回収）

TOP INTERVIEW

経営トップに聞く 新春特集

低炭素化・次世代燃料普及に貢献

グループ総合力で環境変化に対応

丸紅エネルギー 本郷 孝博社長

—2021年の総括と2022年の展望について
キーワードは「新型コロナウイルス」「カーボンニュートラル（CN）」「資源高」です。

を最重要課題として取り組みました。とくにSSの現場で日々地域社会に貢献しているエッセンス「カーボンニュートラル（CN）」「資源高」です。

2021年は新型コロナウイルス禍で気を緩めることができない状況が続きましたが、2020年に引き続き事業の継続性を

・有効利用・貯留」などについて知れば知るほど、グリーンな次世代燃料・電気の普及には技術的なブレークスルーや、ばく大なインフラ投資が必要で相應の時間がかかると感じています。

一方で化石燃料に対する風当たりが強くなり過ぎると、安定供給を担うサプライチェーンに

投資をしつづける懸念があります。次世代燃料が普及するにはまだまだ時間がかかることから、バランスよく脱炭素化を進める必要があります。

2022年の資源価格は引き続き高調な環境が続くと思いますが、石油業界が事業を健全に継続しながら脱炭素化にチャレンスするには、適正なマージンの確保が重要です。

—新たな事業分野での取り組みについて
「カーライフ事業推進部」はSSをベースに特約店のサポートを行う部署で、元売や丸紅グループ独自の施策の提案などを行っています。ポータルサイトの開設、ユニフォームの刷新のほか、楽天ポイントやQRコード決済、スマートフォンを活用した中古車査定、カーリースなどの紹介や導入サポートを推進しています。カーシェアの検討も始めています。

「新規事業デザイン部」では比較的中長期的な視点から「脱炭素化」「モビリティ」「海外事業」「地方創生」を切り口にさまざまな案件を検討しています。事業開発力を強化するため、新たな事業に挑む社内文化や環境整備、人材開発にも取り組んでいます。

「カーライフ事業推進部」はSSをベースに特約店のサポートを行う部署で、元売や丸紅グループ独自の施策の提案などを行っています。ポータルサイトの開設、ユニフォームの刷新のほか、楽天ポイントやQRコード決済、スマートフォンを活用した中古車査定、カーリースなどの紹介や導入サポートを推進しています。カーシェアの検討も始めています。

「新規事業デザイン部」では比較的中長期的な視点から「脱炭素化」「モビリティ」「海外事業」「地方創生」を切り口にさまざまな案件を検討しています。事業開発力を強化するため、新たな事業に挑む社内文化や環境整備、人材開発にも取り組んでいます。

「カーライフ事業推進部」はSSをベースに特約店のサポートを行う部署で、元売や丸紅グループ独自の施策の提案などを行っています。ポータルサイトの開設、ユニフォームの刷新のほか、楽天ポイントやQRコード決済、スマートフォンを活用した中古車査定、カーリースなどの紹介や導入サポートを推進しています。カーシェアの検討も始めています。

本郷 孝博（ほんこう・たかひろ）氏1959年生まれ。1982年横浜国立大学経済学部卒。同年丸紅入社。1989年MIECO。2003年丸紅石油貿易部商流開発課長、2008年サハリン開発部長。2010年丸紅エネルギー取締役社長補佐常務執行役員。2012年丸紅 エネルギー 第一部長補佐兼産業エネルギー部長、2015年九州支社長。2018年丸紅エネルギー取締役専務執行役員、2021年代表取締役社長。

【燃料油脂新聞 2022 年 1 月 5 日】

この記事・写真等は、燃料油脂新聞の許諾を得て転載しております。